



はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和6(2024)年4月30日発行 学校HP

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子



「成信力」「苦楽力」「他喜力」～自分の成長を自分で促す力～

新舞鶴小学校に着任し、約1か月が経ちました。日々校長室で業務を行うことが多いのですが、パソコンの画面からふと顔を上げると、いつも目に入る言葉があります。校長室入り口の真上に掲げられている額の中にその言葉は書かれています。「成信力」「苦楽力」「他喜力」という三つの言葉。

あまり聞き慣れない言葉であり、いつもいつも目に入るその言葉が気になり、調べてみました。すると、

「成信力:せいしんりょく」…将来を思い描き、夢や目標の成功を心から信じる力

「苦楽力:くらくりょく」…夢や目標の達成に向け進む中で必ず訪れる、苦難や逆境をワクワク
楽しみながらやり遂げる力(この苦しみは必ずよい結果につながると
前向きに捉えられる力)

「他喜力:たきりょく」…他人の喜びを自らの力に変える力



という意味の言葉でした。これらの言葉はそのどれもが物事に取り組むときの“考え方”を示すもので、前向きな考え方
をすることにより、自分自身の成功や成長を自分の力で引き寄せるための考え方です。いろいろ調べる中で、考え方を
前向き(ポジティブ)にすることで、状況が好転していくということは、少なからずあるようです。前向きな考え方を
する脳のことを“勝ちグセ脳”と呼ぶ人もいます。病は気から」ということわざもこれに通ずるところです。

このことは、ある漢字で上手に説明されるのを聞いたことがあります。「言葉を吐く」というときの「吐」ですが、口の
横に「+」と「-」が上下に並んでいると捉えて、口から発することで「-」な内容を減らしていき、
「+」だけにすると、「夢が叶う」の「叶う」という字になります。つまり、マイナスな言葉ではなく、
プラスの言葉を発していこうというわかりやすい例えです。



子どもたちにとって学校は楽しいところであってほしいのは当然ですが、「楽しさ」の一つに、わからなかったことがわ
かったり、できなかったことができたりする「楽しさ」を感じてほしいと考えます。もちろん、そうなるためには、面倒と感じ
ることや苦しいことにも逃げずに取り組むことが必要です。さらに、このしんどさや苦しさを乗り越えたときに成長や成
功した自分がいるという信じる心も大切です。また、一人ではなかなか乗り越えられないことも、友達と分かち合い、友
達ができるようになったら自分のことのように喜ぶことで、友達も自分を支えてくれるよき友になります。まさに、先に書
いた3つの「力」です。

最近、教員は「子どものよき伴走者」であるべきと言われる。いつもいつも先回りして、お膳立てをすることは子ども
のためにならない。かと言って、後ろから見ているのでは子どもは不安で先に進めない。程よい距離で横にいる「伴走
者」たる姿が求められています。変わる自分を信じて、しんどさや苦しさを乗り越え、成長したときには教師や仲間と喜
び合う。そんな素敵な学校・教室を作り上げていきたいと考えます。

5月が始まります。子どもたちも勢い勇んでスタートした4月の疲れも出るころです。今月も
各ご家庭で体調管理や心のケアもお世話になります。また、5月3日から再び連休に入ります。
新型コロナウイルス感染症が5類移行となって初めてのゴールデンウィークです。人の行
き来が増え、交通量も増えています。連休中の過ごし方については、「新舞鶴っ子の風」を使って指導をしましたが、ご
家庭でもお読みいただき、子どもたちが健康で楽しく、安全に過ごせますように声掛けをお願いします。



校長 亀井 敬介 教職員一同



【ホームページのお知らせ】

学校行事や子どもたちの活動の様子を、ほぼ毎日ホームページでお知らせしています。
上の標題右にある2次元コードからアクセスいただき、ぜひご覧ください。

